

研修目的

臨床医として必要とされる内分泌疾患および糖尿病をはじめとする代謝疾患の診断・治療スキルを習得し、代謝疾患の適切な診断や基本的治療を自ら行えるようになる。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

※習得することで診療科の研修を修了できます。習得できていないと評価を受けた場合は、研修期間が延長となります。

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

- ・内分泌疾患と代謝疾患の病態生理を正しく理解し、適切な診断と基本的な治療を自ら実践できる。

B. 資質・能力

- ・内分泌疾患と代謝疾患を有する患者に対して問診、身体診察、病歴聴取、検査オーダー、アセスメントおよび治療を行う。
- ・メディカルスタッフと協力してチーム医療を実践し、良好な患者 - 医師関係を構築する。

C. 基本的診療業務

- ・指導医とともに内分泌疾患と代謝疾患の一般的な内科診療を行う。
- ・退院サマリーを作成する。
- ・カンファレンスで症例呈示を行う。

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

- ・患者の価値観、負担に配慮した、社会資源の利用などのサポート計画を立案する。

B. 資質・能力

- ・興味がある症例があれば学会発表や英語論文作成を行う。

C. 基本的診療業務

- ・指導医とともに専門的な診療（内分泌負荷試験、持続血糖モニター、インスリンポンプ）を行う。
- ・指導医とともに高血糖緊急症や内分泌緊急症などの救急診療を行う。
- ・他科に入院中の患者の血糖管理（とくに周術期）を行う。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

- ・指導医とともに入院患者の担当医となり、診断・治療を行う。
- ・週1回の総回診と症例カンファレンスを行い、新入院患者のプレゼンを担当する。指導医から診療内容の助言を受ける。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	8:30-9:30 朝回診 9:30-11:30 病棟診療	14:00-15:00 午後回診 15:00-16:00 糖尿病教室	15:00-17:15 病棟診療
火	8:30-9:30 朝回診 9:30-11:30 病棟診療	14:30-16:00 症例カンファレンス、総回診	16:00-17:15 医局会、抄読会
水	8:30-9:30 朝回診 9:30-11:30 甲状腺エコー	14:00-15:00 午後回診 随時：栄養指導	15:00-17:15 病棟診療
木	8:30-9:30 朝回診 9:30-11:30 病棟診療	14:00-15:00 午後回診 随時：療養指導	15:00-17:15 病棟診療
金	8:30-9:30 朝回診 9:30-11:30 病棟診療	14:00-15:00 午後回診 随時：他科往診	15:00-17:15 病棟診療

指導責任者および指導医

指導責任者：澤田正二郎

内分泌指導医：蔭山和則、中田有紀、達増みずき

糖尿病代謝指導医：丹治泰裕、宗像祐一郎、渡辺太一、氏家啓太、板坂卓穂

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医が発表のための文献検索、スライド作製、プレゼンテーションなどの指導を行う。